ひとを育てる活動

「里子」は「奨学生」として在籍校卒業まで支えます

「里親」によるチボリの子ども支援

2013年5月末に33年間の活動を終了したチボリ国際里 親の会(JOFPA)。私たちがそのチボリの子ども支援事業 を引き継いでから早10年目に入ります。本ページですで にご報告のように、精神的里子里親方式は、子どもたち の学習意欲維持に大きな役割を果たし、また、里親の支 援の継続の動機づけともなって、最盛期30校近くあった SCM校の運営を支えてきました。しかし、近年公立校が 増えて、里子たちの公立への転出や退会する里親の数も 増加し、今年度の里子は11名となっています。

また里親制度の目的であったSCMSI校増設によるチボリの子どもの就学機会を増やす支援という点では、公立校増加で、昨年もSCMベネフ小が閉校となるなど、状況が変わり、すでにお伝えのように里子支援は昨年度から奨学生支援に変更しました。

長い支援の成果として、里子(奨学生)の中には、父親は教師、母親は役場職員、子どもの数も2名というように支援が不要と思われるケースもみられます。

一方で下段に、2月半ばに入手のクリスマスメッセージを紹介した里子(奨学生)は、兄弟姉妹が5人で、小規模コーン栽培で生計を立てている世帯です。その里親会員からは昨年末に退会の申し出をいただきましたが、必要であれば、奨学生として継続して支えることができるとSCMSI里子担当には伝えました。

* *



* * * *

こんにちは!私はコロナで学校に行けないため、双子の妹たちの面倒をみました。家事のほかコーンや野菜を植える手伝いもしました。外出を控え、プリント学習を頑張っています。今9年生で成績は心配ないです。卒業まで支援していただければ嬉しいです。

ロッチェルより

あしなが奨学生近況報告

前号で、社会福祉科1年ジョルダンの中退を報告したあしなが奨学生。その前にも入学直前で進学を取りやめた事例があり、現地窓口、農村開発活動主体のボルール住民組合/TBAには、このカレッジ奨学生管理は荷が重すぎるのではと考えて、今年度は、すでに2年前期を好成績で終えたジナッフェ1名に限定して支援することにしました。

この奨学金は、ブラクールのカレッジ生支援のため元 FOTの会が始めたもので、ブラクール支援終了後の現在も、 4名の会員に月2,500円で継続いただいています。

先住民族学校/LSとの出会い・これから

自主財源創出事業の成果・見通し

私たちの現地パートナー7団体の中でその協働の歴史が最も浅いアニータ校長の先住民族学校。すでにお伝えのように、その出会いは2014年に助成金で実施したアグロフォレストリー事業でした。ILSがあるレイクセブ町は、サンタクルスミッション/SCMがその活動の初期から鉱山開発や乱伐阻止など熱帯の生態系保護活動に取り組んでおり、比較的緑が残っていて、植林対象としての優先度は高くない印象がありました。しかし、事業を進める中で、現地窓口PFPの農業専門家とアニータ先生は、かつてSCMの同僚であったこと、また、アニータ先生自身環境保全への熱意を持っていたことがわかりました。

このアニータ先生の先住民族学校エリアでのアグロフォレストリー事業支援は正解でした。環境保全の意義、苗木の育成などの技術は、学校農園作業を通じて、子どもたちに、父母に、さらに地域住民にしっかり波及していることを確認しています。

また、学校農園のバナナやアボカド等の樹木作物収益は、過去2年間に支援した豚・ヤギ・アヒルの繁殖事業収入とともに、当団体の教師給与支援が終了したのちも、自主財源として先住民族学校の運営を支えると期待しています。さらに、アグロフォレストリー事業受益者の父母も、販路が安定の無農薬バナナ収益の一部を月50ペソの授業料に充当し、学校運営を支える予定です。

学校自主財源、豚・ヤギ・アヒル・バナナ・アボカドによる今年度の収入見通しが届きました。 ILS教師の平均給与10か月分相当3万ペップです。

CMIP 奨学生近況報告から

すでにCMIP代表職を辞し、新任地に移ったマニー神父から、 在任中その問題行動に頭を悩ました2名についての報告が届き ました。ともに教育学部3年のオリエルとキンバリーです。オリエル はタレント性があり寮の人気ものでしたが、農作業が忙しいから と、帰省したまま戻ってこないというもの。もう一人キンバリーは、 父親の介護のため、実家のサムラングでオンライン受講していま したが、幼馴染と結婚・妊娠したということでした。追って新任のウ ィリアム神父から最終決定が届くはずですが、次年度は卒業予定 のこの2名、残念ながら奨学生リストからの除外となりそうです。



前号では民族衣装姿で 紹介の上記オリエルと キンバリー。4月に入 手の寮の夕食風景(左) にはその姿はありませ んでした。